

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

351号

2020年5月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 民主・進歩勢力の団結でキャンドル革命を完成させよう！

### ●与党圧勝の一方で不振に終わった進歩政党

4月15日に実施された韓国の総選挙は、与党「共に民主党」の圧勝(180議席)と第1野党「未来統合党」の惨敗(103議席)に終わった。巨大2政党の影に隠れるかのように、その他の政党は「正義党」6議席、「国民の党」3議席、「開かれた民主党」3議席、「無所属」5議席となった。朴槿恵政権によって強制解散させられた「統合進歩党」の後身である「民衆党」は得票率1・05%で議席獲得はならなかった。

このような小政党の極端な不振の原因は「連動型比例代表制」が「未来統合党」がでっち上げた比例選挙用の姉妹政党「未来韓国党」と「共に民主党」がそれになって結成した「共に市民党」によって無意味なものにされてしまったためだ。



▲当選者を示す与党「共に民主党」

### ●総選挙で示された民意をどう見るべきか

本来の趣旨通りに「連動型比例代表制」が実施されたと仮定して議席分布を計算してみた。「共に市民党」が獲得した33%は以下の5政党に均等に6%ずつ分散され、その他の小政党に残り3%が投票されたと仮定した。そして「未来韓国党」が獲得した34%はそのまま「未来統合党」に投票されたものと仮定した。その結果は「共に民主党」169議席、「未来統合党」99議席、「正義党」12議席、「国民の党」8議席、「開かれた民主党」5議席、「民生党」4議席、「民衆党」3議席だ。これが本来の民意に最も近い議会構成であったと思われる。「正義党」と「開かれた民主党」と「民衆党」が連携すれば20議席

に達し院内交渉団体の構成も可能だった。

### ●守旧勢力による権力奪還の

#### 可能性を封印した画期的な選挙結果

そもそも国民は「共に民主党」に全面的な支持を与えたわけではない。むしろキャンドル革命の要求を実現しない文在寅政権に対しては不信と不満が高まっていた。にもかかわらず、何としても歴代独裁政権を継承する「未来統合党」に議席を与えないために地方区では勝てる候補である与党候補に投票したのだ。そして「未来統合党」同様の手法については疑問を持ちながらも「未来韓国党」の議席を一つでも減らすために比例では「共に市民党」に投票したのだ。その結果「未来統合党」に決定的な敗北を与え守旧勢力による権力奪還の可能性を封じ込めたのだ。これが今回の選挙の最大の意義だ。

### ●キャンドル革命完成のための課題は何か

院内交渉団体は「共に民主党」と「未来統合党」だけなので、第21代国会はこの2党の合意に基づいて運営されることになる。与党は「国民大統合」などの美名の下に積弊勢力である「未来統合党」に不必要な妥協をしてはならない。

「共に民主党」は憲法改正以外は何でもできる権力を手にした。この国民によって与えられた権力を行使して「未来統合党」に代表される積弊勢力の清算を徹底して推進しなければならない。そのためには、議席数に関わらず民主・進歩陣営との連帯と団結が不可欠だ。キャンドル革命の完成に向けた新たな闘いの始まりだ。(金五)

## 72年目の済州4・3事件、「和解」と「共生」のための「特別法」改正が急がれる

李 鐵(イ・ Chol)

2019年4月3日、71年目の4・3犠牲者追悼式「花咲かせよう4・3精神(主催:行政安全部、主幹:済州特別自治道)」で当日配布された記念誌の中に「ともに歩く4・3の道」特集が収められています。その111ページに「潜伏虐殺跡」を紹介しています。「1948年12月12日、討伐隊が戦闘訓練でもしていたのか潜伏していた。討伐隊はキム・トウベクら一家10余名を一ヶ所に追い詰め、藁やむしろを積んで火をつける蛮行を行った。泣き叫び苦痛の中、炎に包まれて亡くなった多くが女性・子供・老人だった」。

済州アンドク・ドングアン村、映画「チスル」で有名な4・3事件の舞台となった村で、私の母方の村です。私の母が当時、村にいたかは不明、生前4・3事件のことを語ることはありませんでした。今のドングアン村は全村移転で別の場所にあります。またカシリ村、この村だけで404人の犠牲者がいたと記念誌は伝えています。カシリ村の隣村が父方の村です。名前はソンウプ村、2015年4月1日に村の歴史をつづった「ソンウプ村」を発刊しました。21



▲多くの犠牲者を出した済州4・3事件

5ページに4・3当時の記録が掲載されています。私の兄(当時15歳)も犠牲者欄に掲載されています。当時ソンウプ村には警察支所が置かれ、討伐隊の駐屯地だったため海岸から離れた場所でしたが「疎開令」から免除されていました。それでも誌によれば77名の犠牲者が記録されています。

当時の済州島は、日本からの引揚者らも加わって人口が約30万、そのうち3万人以上が犠牲となり、その多くが「軍警」「討伐隊」「西北青年団」など国家権力と、それを背景とした暴力徒輩による大量虐殺でした。事件は1947年3月1日、独立運動記念行事参加者らへの本土からの派遣「軍警」による発砲事件が発端です。1947年当時は米軍政庁時期で米軍の関与は否定できません。最近の研究結果によれば、当時の米軍政庁責任者のハッジ大将(John Reed Hodge 1945~1948年まで駐韓米軍司令官兼米軍政庁司令官を務めた)は、5・10単独選挙に反対する島

民を犯罪者とみなしていました(2020年1月13日・韓国ノーカットニュース)。

4・3事件の真相を語ることは許されませんでした。遺族と被害者らは息をひそめて暮らし、在日社会(難を逃れて日本に渡った人々)で語り継がれてきましたが、事件の全貌を体系的に捉え、真相を究明するには多くの時間がかかりました。

韓国の民主化を実現させた市民社会は過去の暗黒の歴史を振り返る作業に取り組み始め、済州4・3事件も2000年1月に「4・3特別法」が制定され、2006年には故盧武鉉大統領が追悼式に参加して国を代表して島民に謝罪しましたが、被害者と犠牲者遺族への賠償などは取り上げられることはありませんでした。

今年2月、4・3事件当時、不法な軍事裁判で獄中につながれたのち、行方不明になった被害者家族らが済州地裁に集団再審請求を提訴しました。昨年1月には同様の訴訟を起こし、事実上の無罪判決に相当する控訴棄却判断が下されるなど、司法の場で事件の見直しが進んでいます。今、遺族会を中心に「4・3特別法」の改正を求める声が高ま

っています。「済州4・3事件真相究明と犠牲者の名誉回復と補償等に関する特別法案」と題された法案は、国会審議が行われていますが審理が進まず、棚上げ状態になっています。

今年の追悼式は新型コロナウイルスの影響で参加者150人の最小規模で開催されました。式典に参加した文在寅大統領は「解放から分断・戦争へと続く過程で、我々が解決し克服しなければならない多くの辛い過去の出来事であったがゆえに、困難は伴うが被害者と遺族らが生存する間に基本的正義の意味から、実質的な賠償と保障の実現のために継続して努力する。政界と国会も特別法改正について関心を持ち支援をお願いします。立法化に向けて努力し、政府としてできることを迅速に行います」と語りました。選挙結果が改正案成立にどのような影響があるのか予断を許しません。遺族の切なる思いが届くことを願っています。

【翻訳資料】 私たちの時代の記憶と空間 4・16の記憶と4・16生命安全公園

今年4月、セウォル号惨事から6周年を迎えました。2022年、韓国安山(アンサン)市に「セウォル号生命安全公園」が建設されるという記事が韓国インターネット新聞で紹介されました。要約になりますが紹介します。

京畿道安山市檀園区草芝洞、画廊遊園地の南側の未造成地に「セウォル号惨事追悼施設」が作られます。今年、デザイン公募と実施設計を終え、来年に着工、再来年には完成する予定です。

少し前、某メディアで「4・16生命安全公園」建設と追悼、記憶、共感などに対するインタビューがありました。その内容をまとめると下記のとおりです。

セウォル号惨事が忘れられるような出来事なのではないでしょうか？

コロナ19がヨーロッパに上陸する前の1月27日、アウシュビッツ解放75周年記念行事が大々的に開かれました。彼らはなぜ胸が痛む出来事を記憶して、追悼して、記念して、後の世代に継承するのでしょうか？ 残忍非道な歴史を記憶し、犠牲になった彼らの霊を慰めようと思うのは単純ながらも自明な理由ゆえです。すなわち悲劇の回復を防ごうと思うからです。

セウォル号惨事の犠牲者の大部分は、まだ両親の愛が必要な学生たちでした。遺族が愛する人、愛する子どもをどうして忘れて生きていけるのでしょうか？ 私たちのすべきことは彼らを慰めることであって、彼らを止めることではありません。言い換えれば、私たちに彼らを慰めるための口はあっても、止めるための口はありません。

喜びを分かちあえば倍になるが、悲しみを分かちあえば半分になる。これが私たちの伝統的な追悼文化にもっと近いかもしれません。

セウォル号惨事の犠牲者のための追悼公園が紆余曲折の末、「生命安全公園」として建てられることになりました。生命と安全を思い起こさせる象徴が、私たちの近くにあればあるほど良いでし

よう。市民との近接性を考えた時、郊外よりは都心に位置する方が利点があるでしょう。近い距離で、日常の空間として、気軽に接して見られるならば、起きるべきでなかった惨事を記憶して、犠牲者を追悼して、遺族の痛みに共感するための助けになるでしょう。そうすればこの空間は、私たちの社会をもう少し温かい共同体に変えていく空間となるでしょう。

接触性は記憶と共感の伝播性と関連があります。4・16生命安全公園が都心の中から行きやすい場所に建てられれば、多くの人が訪問することでしょう。そうすれば人々どうしお互いに接触・交流する機会が増えるでしょう。また、ここが追悼のためだけの意識の空間として作られず、様々な関連行事が開かれる日常の空間として活用されるならば、接触性は船となり、記憶と共感は一瞬に伝播することになるでしょう。

セウォル号惨事に関する記憶建築は、必ずしも建築ではなくとも、記憶や共感の産物（光化門、セウォル号追悼館、彭木港近隣の記憶の森など）で私たちに継続的と記憶できる可能性を提供します。またそれは国家的災難に対する政府の対応はどうあるべきか、政府の役割が不在の時ほどのような惨事が起きるのかという警戒心を与えます。そのような災難が繰り返されないように努力しろと促す意味を持っている空間でもあります。何よりも愛した彼らを、回想して追慕する彼らと共感する日常の空間が用意されるという点にこそ、意味があるといえるでしょう。

今や建てられる4・16生命安全公園には、このような意味が必ず含まれなければならないでしょう。



▲4・16生命安全公園完成予定図

## 【投稿】

## 正当に怖がる

中山茂（フリージャーナリスト）

「正当に怖がる」。これは関東大震災を調査した寺田寅彦（物理学者・俳人）の言葉である。寺田は「災害は忘れた頃にやってくる」と言ったことでも有名だ。「怖がり過ぎるな、怖がらなさ過ぎるな」ということだ。過度の「自粛」も、行政の無責任な行政放棄も許されない。

米国の感染者は毎日数万人規模で増え続け、21日現在78万人、死者4万2364人である。もうすぐ100万人にも達するだろう。ニューヨーク州では死者が5000人を超え（4月10日現在）、医療現場は崩壊し、マスク、防護服、手袋は不足しポリ袋で代用しているという。ハーレム病院の看護師や医療スタッフが抗議行動を起こしていると報じられている。アメリカは国民皆保険制度もなく、さらにこの間、新自由主義により医療、公衆衛生は破壊つくされてきた。これらのツケがコロナ禍により一挙に爆発したのではないのか。明日の日本の状況である。

4月8日付の日経新聞に載っていたが、キッシンジャー（元国務長官・96歳）が米紙（3日）に「世界秩序を永遠に変えてしまうだろう。新たな時代に備えて計画作りを急ぐように求めた」と寄稿している。これが支配階級中枢の本音ではないか。

しかし、安倍政権はどうだろうか。オリンピック開催に最後までこだわり、当初無視を決め込んだ。東京都知事・小池も同じだ。現在、具体的に決まったのは「マスクの送付」だけだ。そして、一人10万円の特別定額給付金（仮）の給付。給付金は「アベノマスク」の不人気で急に閣議決定されたようだが、どうしてすぐに決めないのか。

大阪市長・松井が雨カップの寄付を求めた。防護服がないから代表品にするという。そして、大阪府知事・吉村は28万枚のポンチョ型のカップを注文するという。雨カップでコロナウイルスを防げるのか。大阪市役所に市民の善意でカップが

届けられ、庁舎の階段にうず高く段ボールが積まれている新聞報道には怒りすらわいた。このカンパが医療現場で使われ、市民が感染し、死者が出たら松井や吉村は殺人者ではないのか。美談として報道するマスコミに危機意識はないのか。

中国の感染者は現在8万人ほどで、ほぼ封じたと思われる。「韓国」も感染者の人数がほぼ止まった。両国の教訓は徹底した検査と隔離だと言われている。日本の現状はどうだろうか。PCR検査も放置され、自宅待機で家庭内感染、さらに隔離が不十分な病院での院内感染が蔓延した。生野

区のリハビリ病院では患者、医療スタッフが100人ほど感染した。

感染症の病床が不足していると言われているが、今頃になって十三市民病院をコロナ専門の病棟にすると松井が言っている。それまで感染症病棟の手配はしていなかったのか。カジノや万博だけしか関心がなかったのか。

今回の「コロナ禍」で社会のひずみ、矛盾が露呈した。

大阪市では20年前に全区に一ヶ所づつあった保健所が統廃合され、市内に一つだけとなった。2017年には大阪市と大阪府の公衆衛生の研究機関が統合された。住吉市民病院も閉鎖され、医療・公衆衛生行政の貧困が今日の事態を招いている。

補正予算ではマスク配布費用に466億円が計上された。しかし、人工呼吸器やPCR検査器具の増産支援が400億円程度だと言われている。

安倍首相はコロナに対して全力で向き合っているのか。人命、人々の生活を本気になって考えているのか。

防疫対策、コロナ対策は最大限にやり、行政には我々が生きて行くための正当な要求を突きつけ、この想像を絶する事態を乗りきらなければならない。（了）



▲緊急事態宣言を発表する安倍首相

## 【コラム】

## 新羅の仏教

仏教の伝来は時に試練が課される。日本でも仏教の受容を巡って大きな争乱が起きたことはよく知られているが、新羅もまた土着信仰勢力の強い抵抗があった。

5世紀中葉、訥祇麻立干(ヌルマリプカン)の時代に、高句麗から墨胡子という僧侶が訪れて仏法を伝え、王女の病気を癒やしたという伝説がある。しかしこの時、新羅の仏教徒はさほど増えることが無く、新羅に寺が建てられるには至らなかった。

それから数十年後の炤知麻立干(シヂマリプカン)

の時代にも、高句麗から僧侶が訪れて仏法を人々に広めたとされる。この時、新羅王室は国家に仏教を取り入れるよう努力したが、多くの有力氏族が反対したために、さほどの成果を得ることができなかつた。仏教の受容には、王権強化とそれに反対する貴族たちの政争が背景になるものだろう。



▲新羅の皇龍寺九層木塔(復元図)

本格的に仏教が新羅の国教となったのは6世紀に入ってから、中央集権化を強く推し進めた法興王(ポップンワン)の努力によるものだった。520年(法興王7年)に律令を頒布して国家体制を整えた王は、528年、国家として仏教を公認するべく、議論に諮った。

この時の有名な逸話が、異次頓(イチャドン)の殉教だ。王は仏教の公認を貴族たちと議論したが、並びいる群臣の皆が反対した。王の側近であった異次頓は、これを見て自らが殉教者となる覚悟を固め、自分の首が刎ねられてでも仏教を受け入れさせようと決意した。

結局、仏教の公認は実現できず、一人だけ公認を主張して寺の造営を強行しようとした異次頓は

処刑されることになった。処刑場に引き出された異次頓は「私の死に際して、必ず奇跡が起こる。それは釈迦が存する証である」と述べて、首を差し出した。すると異次頓の首が切られて飛ぶや、空はにわかにかき曇って花びらが舞い降り、首から溢れ出る血は牛乳のように白く、しかも飛んでいった首ははるか金剛山の頂に落ちた。この奇跡により仏教の公認に反対する者はいなくなったという。

異次頓の殉教から七年後、彼が寺を造ろうとし

ていた天鏡林に新羅最初の寺である興輪寺が創建され、法興王は譲位して出家し法空と名乗った。このようにして受け入れられた新羅の仏教は当初、「善行受福」といった素朴な教えが中心になり、土着信仰と混ざり合っていくことになる。

その後の新羅は僧職の整備に励み、国家の下に仏教勢力が統率される体制を確

立していった。僧侶の最高位である僧統が設けられ、その下に比丘(僧侶)を掌握する大都唯那と、尼僧を掌握する都唯那娘が任命された。

やがて古来から固有の風習と混じり合いつつ、国家行事を執り行うようになった新羅の仏教は、三国時代の戦争の中、護国仏教として成長した。僧統の指導の下、大規模行事である八関之法、百座講会が開かれるようになり、宮中に高僧百人が招かれ、災難と外敵を阻む『仁王般若経』が高らかに読誦される中、国王は国家の安寧を祈った。八関之法は当初、戦没将兵の慰霊祭として始まり、民族の祝祭である八関齋へと姿を変えて、後代の高麗にも引き継がれていくことになる。



## 【詩の紹介】

## 裂傷

記憶を喪<sup>うしな</sup>った朝は  
 布団の中で手籠<sup>てご</sup>めにされた後の亡骸  
 はじめから棄<sup>す</sup>て置かれた朝は  
 真心にある春が死ぬときの裂傷<sup>れつじやう</sup>

そして朝露は  
 覚ましてはならぬ深泥<sup>みどろ</sup>のなかに滴り墮<sup>お</sup>ちて  
 夜霧となる

悲しみは果てのあることを言うのだろう  
 苦しみは抱かれた懐のなかで味わうのだろう  
 果ても、温かな懐もない囚<sup>とら</sup>われの荒野にあつて  
 見当もつかない方向を歩むあなたの孤独は  
 闇のなかに見えない悲鳴、聞こえない憤怒<sup>ふんぬ</sup>と  
 無力さを呪う雨が  
 背負わせてしまった裂傷なのだ



祈りのなかで生まれた朝は  
 逡巡<sup>しゆんじゆん</sup>する怒りが鬼を打ち克<sup>か</sup>つた証  
 無色の淵<sup>かち</sup>から蘇<sup>そ</sup>った朝は  
 真心にある春のきらめいた眼差し

そして朝露は  
 老いさらばえた青春<sup>あわか</sup>に赫<sup>あか</sup>い血をたらし  
 歴史を変える

囚われの荒野にあつて  
 あなたの孤独は  
 癒えることのない裂傷  
 振り返るに忍びない裂傷  
 取り替えることのできない事実  
 無力さを呪う雨となつて  
 その傷を洗い流したい

朴  
 氐

## 編集後記

今号の自主(チャジュ)の紙面は韓国総選挙の評価、済州4・3事件、セウォル号惨事、新型コロナウイルス問題、コラム、そして初めての詩の掲載と内容が豊富になりました。原稿を書いて頂いた皆さん、ありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響で社会全体がストップ状態です。皆さんも体調には気をつけて下さい。

(ソン)